



第 57 号
平成 20 年
8 月 発行

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)における

ターミナルケアへの関わり方と問題点(三)

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 渥

介護老人福祉施設における配置医師の役割は、現状でも多岐煩雑になっていますが、それに加え、さらなる、医療ケアの質の向上と量の拡大が求められています。一方では、入所者およびその家族の要望として、病院での延命治療を求めないケースも増えてきています。不治、末期延命措置を拒否する「リビング・ウィル」の考え方も高齢者に広がってきています。これらの流れから介護老人福祉施設を「終の棲家」としてとらえ、今後、施設内でのターミナルケアを求められることも多くなることと思われます。

(一) 職員の心構え

入所者および家族から施設でのターミナルケアを求められた場合、医師と全職員がその対応について十分話し合うことが必要です。何ができて、何ができないのかを十分に把握し、その情報を全職員で共有することが大切です。もしその時対応が可能と判断された場合、配置医師を中心に「この方がターミナルケアに移行してきているので、十分な注意が必要です」という共通の認識を全職員に持たせることが大事です。

(二) 家族とのかかわりかた

配置医師は家族に対して、インフォームドコンセントを行う必要があります。入所者の状態についての説明のほか、延命を望む場合は入院治療もありうることや、それぞれの方法に関するメリット、デメリットを家族に説明し、同時に「これはむしろ難しい問題で悩まれるだろうから、すぐには返事をしなくてもいいです。よく身内で相談してください。また、相談して結果を決めても、それに縛られずに、変更の希望があ

ればいつでも言ってほしい」と話し、その後「自然なままで見送ってほしい」と言った時、初めてターミナル期という決定がなされます。これらの話し合いには、配置医師一人だけでなく、看護師や施設職員の同席が望まれます。

(三) 居室環境について

介護老人福祉施設にも、「個室ユニット」が徐々に整備されてきていますが、ターミナルケアを個室で行うに関しては、さまざまな考え方があろうに思われます。大部屋で入所者仲間に看取られるという考え方が一方、個室に家族が寝泊りしながら看取るという考え方もあってもいいでしょう。

(四) 職員配置の問題について

ターミナルケアを行ううえでは、配置医師および看護師に負担が重くのかかかってきます。現行の配置基準では、医療ケアの必要性が高まっている現在、圧倒的に看護職の数が足りないと思われます。特に、夜間、看護師が不在の施設では、ターミナルケアは困難と言わざるをえないでしょう。

(五) 制度上の問題について

配置医師の医療行為については、保険診療上、数々の制約があります。ターミナルケアについても、施設でのケアに対する保険診療上の手当ては十分とは言えません。看護師の行う医療ケアにおいても、単独での行為を制約されている場合が多いのです。

以上、介護老人福祉施設における医療、特にターミナルケアに関しての諸問題を提起してみました。当「望洋荘」でも配置医師、看護師の対策を講じながら徐々に入所者および御家族の要望に、出来得る限り応じるべく努力したいと思っています。

「リビング・ウィル」

医療や介護を必要とする人たちに心と身体にやさしい医療・介護の実現を目指すも、現在の医学では不治であり、死期が迫っているときの事を考えて、万一の場合、本人が生前時において、自分自身のターミナル期の生き方を意思表示する事。

「七夕見学」 平市内

八月六日(水)午前九時五十分より、
勿来ユニット入居者様四名で、「七夕見学」に行つて来ました。初日の早い時間であつた為、まだ人通りも少なく、気温もさほど暑くなく、みなさんゆつくりと見学する事が出来ました。それぞれの多彩な七夕飾りを見て、綺麗だね！立派だね！などと感動されていました。また多くの出店が立ち並び、買つて食べたり、ゲームで遊んだり、観て楽しめたり、夏のひと時を満喫されました。



「すいか割り」



「盆踊り見学」 沼ノ内

八月十六日(土)午後四時三〇分より、沼ノ内へ盆踊りを見学に行きました。当初は、一〇名の入居者様が見学に行く予定でしたが、残念な事に当日は、雨が降ったり止んだり肌寒く、入居者様の負担も大きいと判断し、当日の体調などを配慮して、三名の入居者様で行く事となりました。会場では、盆踊りや太鼓にじゃんがらなども見学し、出店では焼きそばなどを食べて、みなさん大満足の様子でした。



「バーベキュー&足湯」



八月二十四日(日)午前十時より、永崎ユニットテラスにて「バーベキュー」を行いました。当日はあいにくの曇り空でしたが、たくさんのご家族様のご協力を頂き、楽しい時間を過ごす事が出来ました。みなさん「おいしいね」「もうおなかいっぱい」で食べられないよ」とご満足の表情でした。やはり御家族と一緒に食べる食事の味は格別だったようです。また、足湯コーナーを設置し、寛いで過ごして頂くことも出来ました。ご家族の皆様、ご協力頂き有難うございました。

『投稿作品』の紹介・

渡辺さんは双葉郡富岡町出身。中央大学法学部予科二年の昭和十七年四月一日、会津若松の陸軍歩兵第二九連隊に入営。第一機関銃中隊に配属され、帰国する昭和二十一年四月までの四年間、南方を転戦され、その苦しい時代を再度繰り返さない様、平和の尊さを子孫に伝える為、七十歳の時に軍人手帳の写しを基に執筆されました冊子の一部を三回にわけて紹介させていただきます。

遠い記憶(その1)

…愛しの孫たちへ…

私には二人子供と三人の孫が居るが子供の二人には私の出来る限りの事をしてやった。が、孫である貴女方三人には何もしてやれない。もう、其の力が無い。だからお祖父さんが祖国のため一生懸命に戦って来た従軍の思い出を記録として書き残します。もしあの時一発の敵弾が私に命中して居たら貴女方は此の世に存在してなかったものね。

今年七十才になって薄れ行く記憶と衰える視力に鞭打って五十年近い昔の思い出を書きます。文章家でないから全て下手です。でも笑い乍らお祖父さんの若かった頃の姿を臉の内に描いて三人何時までも仲良く、健康で素直な明るく幸せな人生を送ってください。祈ります。

一九九〇年八月

渡辺 芳重

門 出

昭和十七年三月三十一日、今日はこの自分の生家も家族とも見納めになるかも知れない朝だ。祖父。祖母。父。母。姉妹達皆んな涙を堪えて居る。兄さんは結婚の事で親と意見が合わず満州へ行つてしまい、此の家で男息子は私一人だ。それを戦争に送り出さなければならぬ家族の気持ちを思うとどうしようもない。でも今日は涙を見せはならない。氏神様にお詣りをして自分の無事帰還と家族の幸福を祈る。家族の前では「行つて来ます」としか言えなかった。あれも言おう、これも言おうと考えて居たが何も言えなかった。玄關を出た処で近所の人や親戚の方々が万歳三唱をしてくれた。ここでも「行つて来ます」とだけ言った。

平駅で磐越東線に乗り換える。此処から先は初めての旅路だ。父は幾度も通っているので沿線の景色を、あれが関ヶ原岳だ、此処が夏井川溪谷だ、と説明してくれた。郡山駅で磐越西線に乗り換え駅弁を買う。郡山からは明日入営する仲間らしき若者が大勢見受けられた。皆んな緊張した顔だ。私もそうだろう。磐梯山と猪苗代湖が車窓に迫ったのには驚いた。だが実に良い景色だ。

三時頃会津若松に着く。初春とは言っても山国の夕暮れは早く、本当に寒い処だ。指定された宿に入ると下士官の人が受け付けをして居た。夜になってから部隊の将校さんが見えて氏名点呼があった。数人の相部屋で付添の家族と共に最後の夜を過ごした。

入 営

四月一日午前八時、歩兵第二十九聯隊補充隊の営門に入る。付添人は此処まででお別れ。第一機関銃中隊の前に集合した者六〇名。この方達が現役兵として本営の戦友で今後生死を共にすることになる。

今日の入営者約一〇〇〇名。営舎内に移動。古年兵の指示に従う。軍装品一切が支給された。軍衣(上着)、軍袴(ズボン)、襦袢(シャツ)、袴下(ズボン下)、褌、襟布、軍靴、営内靴(スリッパ)、軍帽、外被(雨合羽)、背囊(リックサック)、水筒、飯盒、帯革(バンド)等が一装用(新品)。二装用(普段用)と一抱之もある。軍服に着替えて今迄の私服と私物は全部風呂敷に包み、名札を付けて送り返す様指示された。

軍人としての基本事項

- 一、上官の命令には絶対服従。仮令同階級であつても一日早く入隊したものが上官である。
- 二、言葉遣いは、上官には氏名・階級すべてに殿を付ける。私・僕・君・貴方は絶対使わない。私・僕は自分と、君・貴方はお前という。
- 三、声は腹の底から大声を出し、動作は活発機敏であること。
- 四、復唱服命をすること。
- 五、班内へ出入りする時には、大声で行き先・用件・終了を告げる。
- 六、敬礼は、無帽(舎内)の時は目礼、着帽(舎内以外)の時は拳手の礼をする。
- 七、上官の話の聞くとときは気お付けの姿勢をとる。

「望洋荘家族会からの要望書」 に対する施設内改善報告 ③

前月号に引き続き、要望書の内容による改善方法を、皆様へ報告させて頂きます。

④ 施設職員及びユニットリーダーについて

要望13、名前の表示が何処にあるか分からない
要望11、ユニット職員の顔と名前が分かるよう、
名札をつけてほしい

要望12、分かり易い工夫をしてほしい

要望14、名札等、大きく写真付で！

要望16、ユニット職員の名前は全く分からない、
知る方法もない

【改善内容及び回答】

現状では、全職員の写真と名前を正面玄関より入って右側に掲示してありますが、今後はその他に、各ユニット入り口付近にユニット職員の写真や名前等を掲示していく方針であります。(7月までに全ユニット掲示予定)
名札については、施設内でも以前検討しましたが、胸に名札を付けた際、利用者様に接触して怪我をさせてしまう危険性があるということから、名札使用は避けて参りました。今後名札を身につける予定はありません。

要望15、外部からの人でもすぐ分かるように工夫してほしい 面会者？

【改善内容及び回答】

面会者及び見学者用の名札等の使用については、個人情報保護法の観点から、現在も施設内で検討中でございます。

要望17、ユニットリーダーというのは初めて聞きました

【改善内容及び回答】

ユニットリーダーは、各ユニット(永崎・四倉・勿来・薄磯・豊間・シヨートステイ)に1名ずつ配置しており、ユニットケアにあたり、ユニット内の職員の取りまとめと情報伝達の役割となっております。

〈次号に続く〉

第五回『望洋荘祭り』の御案内

第五回 望洋荘祭り

一日々、いわき七浜の潮騒が聞こえる「ふるさ」に憩う一少人数で構成された、まとまりのある家族的な生活空間で、安心と寛ぎとゆとりのある居住の場を提供しています。

テーマ ～入居者と家族と地域との交流～

日時 平成20年9月15日(祝)
午後3時～午後6時

場所 望洋荘正面玄関前広場
※雨天時は望洋荘内にて実施

内容 プログラム
1. 開会のあいさつ 5. 開会宣言
2. 理事長あいさつ 6. 余興
3. 来賓者より祝辞 7. 閉会のあいさつ
4. 家族会より祝辞

◎バザーコーナー
◎模擬店コーナー

焼きそば ポップコーン
豚汁(家族会様) 厚揚げ
焼鳥() ゼリー
フランクフルト お好み焼き(おたふく様)
綿あめ ジュース・ビール

余興プログラム

15:15～
和太鼓………和太鼓の会さつき様
フラダンス……カブア モキハナ フラストジオ
チャリディング……クラブス
ハーモニカ演奏……キャプテン船水

17:00～
じゃんがら……下神谷青年会
盆踊り……みなみ御囃子会

お断り

・駐車スペースに限りがございます。乗り合わせにて、ご来荘頂けます様お願い致します。
・模擬店コーナーの商品には、限りがございます。品切れの際はご容赦ください。
・食中毒防止の為、食べ物のお持ち帰りはご遠慮ください。

主催

介護老人福祉施設 望洋荘
後援・協賛
望洋荘家族会
医療法人あさうら会 須田医院

九月の行事予定

九月十五日(月) 午後三時三〇分

「望洋荘祭り」※雨天決行

※今年は「やぐら」を初めての試みとして組み立て皆様に披露できる予定です。

九月二六日(金) 勿来ユニット午前三時三〇分

「フラワーセンター見学」

【九月のお誕生会予定】

九月一日(月)

四倉 大谷 サタ子様 (九二歳) 誕生会

九月五日(金)

永崎 涌井 マサ子様 (八八歳) 誕生会

九月十日(水)

永崎 大平 孝男様 (六八歳) 誕生会

九月十五日(月)

勿来 中村 伸平様 (八五歳) 誕生会

九月十五日(月)

勿来 長谷川 イク様 (九〇歳) 誕生会

九月二五日(木)

豊間 大槻 タマ様 (九三歳) 誕生会

編集後記

『望洋荘』便り

平成二十年八月三十一日発行

発行所 いわき市

社会福祉法人 平豊間字合磯三十九番地

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255